徳洲会グループ
TOKUSHUKAI MEDICAL GROUP

発行
一般社団法人徳洲会
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-3-1 東京堂千代田ビル14階
TEL：03-3262-3133

制作
一般社団法人徳洲会　広報部
TEL：03-3288-5580　FAX：03-3263-8125
Email：news@tokushukai.jp

ALL LIVING BEINGS ARE CREATED EQUAL
徳洲新聞
TOKUSHUKAI MEDICAL GROUP NEWS
No.1566

外科手術困難な患者さんに新たな選択肢

三尖弁閉鎖不全症をカテーテル治療

千葉西総合病院が低侵襲なTriClip導入

千葉西総合病院は、重症の三尖弁閉鎖不全症（三尖弁逆流症＝TR）に対する経皮的三尖弁接合不全修復術（T-TEER治療）を開始した。低侵襲なカテーテル治療であり身体への負担が少ないため、高齢であることや併存疾患を有するなどの理由により、外科手術（開胸手術）のリスクが高く、薬物療法以外に治療手段がなかった患者さんにとって新たな選択肢となる。治療には2026年3月に保険適用となったTriClipという新しいデバイス（医療器具）を用い、9月30日に1例目を施行し奏功。TriClipの導入施設は全国に32病院と限られ、千葉県では初導入だ。徳洲会グループでは湘南鎌倉総合病院（神奈川県）、札幌東徳洲会病院に続き3施設目。

全国で32施設・徳洲会では3施設目

千葉西病院は9月1日付で日本循環器学会から「経皮的三尖弁接合不全修復システム実施施設」の認定を受けた。これによりTriClipによるT-TEER治療の実施が可能となった。同認定を受けるには、循環器内科や心臓血管外科に関して高度な診療体制・実績を要する。



「QOLや予後の改善に貢献していきたい」と桃原副院長



専用のデリバリーシステムを操作してTriClip治療を行う桃原副院長（左から2人目）

右心房と右心室の間にある三尖弁が正常に閉じなくなり、血液が逆流してしまうのがTR。TriClipは太ももの付け根の血管からカテーテルを挿入し、経食道心エコー下に、三尖弁の弁尖同士を特殊なクリップではさんで固定する治療法だ（**図**）。

千葉西病院の桃原哲也・副院長兼循環器内科主任診療部長兼SHD（構造的心疾患）センター長は「TRは進行すると右心不全を引き起こし、“むくみ”や“だるさ”、“息切れ”といった症状がでます。ただし発症から時間が経つと身体が症状に慣れてしまい、無意識に活動量を制限して『症状がない』と認識している患者さんが少なくないのが実状です」と指摘。

そのため見逃されやすい疾患であり、「診察時には患者さんの話をよく聞くと同時に、患者さんは自分の症状を軽めに申告することがあるため、丁寧な問診が重要です。少しでもTRが疑われる場合は、経胸壁心エコーで逆流の有無を確認するなど適切な診断が欠かせません」と強調する。桃原副院長はTAVI（経皮的大動脈弁留置術）約2,500例、M-TEER（経皮的僧帽弁接合不全修復術）約300例など経験豊富な心臓カテーテル治療のエキスパート。

三尖弁は食道から物理的に距離があり、鮮明な経食道心エコーの画像が得にくいことから、TriClip治療は難易度の高い手技だ。同院では、左側の肺を一時的に虚脱（空気を抜く）し、心臓を中央に寄せることで、良好なエコー画像を確認しながらクリップで弁をつかみ、安全に実施できるよう工夫している。

心臓には三尖弁、大動脈弁、僧帽弁、肺動脈弁の4種類の弁がある。このうち肺動脈弁の疾患は先天性疾患が多く、小児循環器診療が扱う特殊な領域であり、成人を対象とした循環器診療では、これを除く3種類の弁が治療対象だ。

同院は従来から取り組む大動脈弁狭窄症に対するTAVI、僧帽弁閉鎖不全症に対するM-TEERと合わせ、心臓弁膜症に対するカテーテル治療を網羅したことになる。

また同院はPCI（経皮的冠動脈形成術）やアブレーション（心筋焼灼術）、冠動脈疾患、大動脈疾患に対するMICS（最小侵襲心臓手術）やロボット支援手術といった低侵襲手術などもそろえ、循環器内科と心臓血管外科による“ハートチーム”としての連携の下、心臓に関してフルラインアップの診療体制を構築した。

「三尖弁は最後のフロンティア」

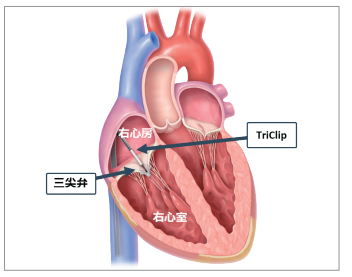
TRの大半は心房細動や肺高血圧症のほか、僧帽弁膜症など左心系疾患が原因で発症する機能的（二次的）TR。たとえば心房細動を発症し長期間経過すると、徐々に右心房が拡大して弁のサイズが合わなくなり、隙間ができて逆流が生じる。

軽症では経過観察を行い、右心不全の症状が見られる時には、むくみの改善のため利尿剤による薬物療法を行う。薬剤で改善しない重症例に対し、従来は開胸手術（三尖弁形成術・同置換術）を行ってきた。

このようにTRは他の心疾患に後発して発症するケースが多く、発見した時点で進行し、うっ血性の肝不全や腎不全といった臓器不全のほか、低心拍出量により全身状態が悪化していることが多い。外科手術を行うにはリスクが高く、選択肢は薬物療法に限られていた。こうした背景からTRは予後が悪い疾患とされる。

桃原副院長は「日本のSHD治療は、私自身も携わったTAVIの治験が2010年に始まって以降、M-TEERの登場などで劇的な進化を遂げてきました。そうしたなか三尖弁は弁膜症治療のなかで、アンメットメディカルニーズ（有効な治療法が存在しない領域）が残る最後のフロンティアでした。TriClipは手術が難しいご高齢の患者さんが大きな恩恵を受けることのできる治療法です」と力を込める。

適応があり治療が奏功すれば、利尿剤の大幅な減量や息切れなど症状の改善が期待できる。「有効な選択肢がなく治療をあきらめていた患者さんに、TriClipによる治療を届け、QOL（生活の質）や予後の改善に貢献していきたい」（桃原副院長）。同院はホームページや医療講演に加え、地域の医療機関を訪問してTriClip治療開始の周知に努めている。



TriClipは右心房と右心室の間にある三尖弁をクリップで固定し、逆流を防ぐ（出典：アボットメディカルジャパン）

徳洲会グループの経皮的三尖弁接合不全修復システム実施施設

湘南鎌倉総合病院（神奈川県）
札幌東徳洲会病院
千葉西総合病院

平島・名瀬病院副院長がリリース

アプリで身体診察をより身近に

名瀬徳洲会病院（鹿児島県）の平島修副院長（総合内科）は、スマートフォンアプリ「ひらっしーのPhysical Club道場」をリリースした。これまで平島副院長はワークショップやYouTubeチャンネルをとおし、医療従事者に学習の機会を提供してきたが、「毎日、気軽に開いてもらえるアプリで、身体診察に触れてほしい」との思いから同アプリを制作した。

ホーム画面は「医学生」、「初期研修医・専攻医」、「上級医・指導医」、「看護師・診療看護師」、「その他の医療従事者」と、登録した立場によって表示が変わる。医学生や研修医は、臨床場面を想定した「道場」形式の症例問題に挑戦しやすくなる一方、指導医向けには、ベッドサイド指導で教科書代わりに活用できる「身体所見図鑑」が、すぐに開けるようになる。



「ひらっしーのPhysical Club道場」ホーム画面

平島副院長は「図鑑はあえて情報を間引かず、かなり詳しく解説しています。表面的な知識にとどまらず、本気でフィジカルに向き合ってほしいです」と強調する。若手医師の「検査依存」が進むなか、同アプリは身体診察の楽しさや重要性を伝える入り口となることを目指す。平島副院長は「病歴と診察があってこそ、検査結果を正確に読み解けます。診察を身近に感じる文化を徳洲会グループ全体で共有したいです」と力を込める。

さらなる発展と地域連携強化を誓う

千葉病院が40周年記念式典を盛大に挙行

千葉徳洲会病院は9月23日、船橋市で開院40周年記念式典を開催した。行政や地域の医療機関、近隣のグループ病院などから約100人が集まり、節目の年を祝福した。

開会にあたり、医療法人徳洲会の石川一郎本部長が法人代表として挨拶。徳洲会創設者の徳田虎雄・名誉理事長が語っていた「住民参加、住民監視、住民管理の病院をつくる」という思いに触れ、地域の方々とともに歩んできた同院の発展をたたえた。続いて、峯田章・副院長兼地域医療連携室長が「これからも急性期医療や専門的な医療に力を入れ、地域に貢献していきます」と抱負を述べた。



「より高い医療を提供できる病院を目指します」と池田院長

病院紹介では池田佳広院長が登壇し、40年の歴史や診療実績を紹介。「皆さまのおかげでここまで大きくなりました。より良い医療を提供できる病院を目指し、今後とも地域のために頑張っていきます」と、さらなる医療の質向上を約束した。来賓祝辞では松戸徹・船橋市長、筒井勝・船橋市保健所長、三代川秀己・船橋市消防局長、鳥海正明・船橋市医師会長が祝意を表した。

その後、診療科紹介に移り、古賀敬史・循環器内科部長が「心血管カテーテル治療8,000件の経験から―治療する循環器医が考える予防医療の大切さ―」、木村直樹・泌尿器科部長が「千葉徳洲会病院泌尿器科の現状と取り組み」、鶴田好彦・院長補佐が「内視鏡手術支援ロボット」をテーマに、それぞれ先進的な取り組みを解説。さらに、各診療科の部長らが登壇し、抱負を語った。



各診療科の部長らが登壇し抱負を話す場面も

余興では、石川本部長がミニコンサートを開き、会場を沸かせた。最後に、関根康雄副院長が閉会の挨拶に立ち、「首都圏である船橋市は人口が増加しています。今後とも、地域医療でより大きな責任を担っていかなければなりません」と締めくくり、地域連携強化に向けて決意を新たにした。

直言

地域に根差しながらも世界とつながり 最高水準の医療と人に寄り添う医療を

2年半後には800床となり世界へ一段と飛躍

医療法人徳洲会 副理事長
湘南鎌倉総合病院（神奈川県）院長
小林 修三（こばやし しゅうぞう）



当院は669床を有するがん診療連携拠点病院として、高度ながん診療を行う急性期病院です。医療が急速に進歩する時代にあって、新しい治療を生み出し、それを必要とする世界の人に届けることもまた、“生命だけは平等だ”の理念の実践です。現在、徳洲会は病院数日本第3位、96の病院を有し約5万人が働く組織です。今こそ世界に羽ばたく時です。徳洲会は国際化を目指し、さらに研究などアカデミアへの活動も積極的です。

BNCTが４月に照射をスタート 末期がん治療に対し大きな成果

当院では今、さまざまな先端医療への挑戦が始まっています。再生医療は人への応用開発に15年かかりましたが、今年の再生医療学会で当院の検証的自由診療という方式が、今後進むべき道として賛同されました。法に基づいて、当院の細胞調整室で生成された高純度のエクソソームを用いた変形性膝関節症への本邦初の特定臨床研究を開始し、NHKをはじめ多くのメディアで紹介されました。腎臓病への応用や薄毛に対する試みも始めています。また、国内初となる遺伝子改変ブタ腎移植の企業治験の実施も発表しました。当院は民間病院でありながら医学研究も盛んであり、14件の科研費、1件のAMED研究費も採択されています。当院の腎移植件数は年間50件に迫り日本7位、神奈川県1位となっています。当院では一般救急総合外科をつくり、彼らを中心に多くの専門外科が協力し、より高度な外科手術を行う体制も整えました。月間1,000件を超える手術、全身麻酔率も70％となっています。来年度、当院では初期研修医から3人の進学を含め計8人の外科専攻医が入ります。がん医療でも陽子線治療やBNCT（ホウ素中性子捕捉療法）、前立腺へのPSMA治療など、従来とは異なる新しい治療に取り組んでいます。

当院はIAEA（国際原子力機関）のアジアハブ病院として認定されています。世界に2台、ヘルシンキと当院にある新型BNCTは、すでにこの4月から人に照射され、末期がん治療にも驚くべき効果を上げています。さらに、米国オハイオ州立大学と連携し、心臓治療、放射線腫瘍、移植などの臨床分野で人材交流、教育、共同研究を進め、世界に向け新しい医療を発信する病院を目指しています。日本の病院が海外から学ぶだけではなく、日本から世界へ医療を発信しましょう。タイのバンコク国際病院では看護師が英語でカルテを記録しています。徳洲会ではDX化も加速しています。インドネシア・ベトナム・カンボジア・タイ・バングラデシュ、そしてタンザニアで病院建築や医療協力も進んでいます。徳洲会の全病院から優秀な若者が世界に飛び出すことを願っています。

国際未病医療センターを開設 タイで音楽療法用いた試みも

神奈川県知事の支援で、当院に国際未病医療センターが開設されました。「未病」の段階から健康寿命を延ばすという考え方です。その取り組みの一つが音楽療法です。すでに多くのエビデンスがある音楽が、心身の健康にどのような効果をもたらすのか、横浜国立大学と共同研究を実施しています。この活動はトヨタ財団からも支援をいただき、バンコクの医療機関で音楽療法を用いた未病改善の取り組みを展開しています。また、県からの委託事業として中井やまゆり園など障害者支援医療にも積極的です。これらは私の院長就任時のマニフェスト「弱者を置き去りにしないで先端医療をやる」の一つで、県との協力で「いのち輝くともいき」活動も実践しています。

当院は地域に根差しながら世界につながり、世界最高水準の医療と人に寄り添う医療を同時に実践する病院にしていきたいと思います。院長就任時、赤字計画で預けられた当院は、全職員の一致協力により、この7月、44億円と過去最高益になりました。「意義があるなら利益にならない対価のない研究についても行おう」という東上震一理事長の発言にもあるように、徳洲会は新たなステージに入りました。利益率上昇につながりにくい当院は、それでも初めて医業利益率10％となりました。この利益は新しい医療機器購入などに使われます。また、これまでの4棟に加え5棟目のE棟建築の設計（ウイメンズパビリオンと回復期病床・自由診療病床）が始まっています。2年半後には800床の病院となり、ますます世界に飛躍するでしょう。

皆で頑張りましょう。

日本体外循環技術医学会

徳洲会のCEから3演題

教育や手技をテーマに発表

第51回日本体外循環技術医学会大会が9月12日から2日間、高知県で開催された。テーマは「一手入魂～その瞬間、その技！」。徳洲会グループは3演題を発表した。

体外循環は、人工心肺装置を用い一時的に血液を体外に導いて酸素化などを施し、再び体内へ戻す方法。今大会で徳洲会グループは3人の臨床工学技士（CE）が1演題ずつ口演（口頭発表）した。

中部徳洲会病院（沖縄県）の赤嶺蒼史CEは「CardiacECMO教育プログラムの構築と当院の取り組み」がテーマ。自院で体外循環技術認定士取得者にプライミング（体外循環開始時の準備工程）とECMO（体外式膜型人工肺）導入手技に絞った教育方法として、動画教材や文書マニュアルを整備、筆記テスト、年2回の院内研修会を実施した。その結果、動画教材は文章のみのマニュアルと比較し、理解が得られやすいものの、動画学習・筆記試験のみでは自信につながりにくい可能性を示唆。模擬回路を用いた実践的トレーニングも併用する重要性を指摘した。

岸和田徳洲会病院（大阪府）の畑勝也・臨床工学室副主任は「V-A ECMO中の持続的空気混入が示す潜在的リスク」と題し、V-A ECMO導入後に回路内へ空気混入を認めた症例を報告。迅速な判断でECMOを離脱し、後日、独歩退院となった経過とともに、空気混入の原因特定には至らず、考え得る可能性を示した。同様のケースを認めた際には、原因検索や迅速な判断、回路監視体制の徹底などが求められると強調した。



自院の取り組みや経験を発表する（左の写真から）赤嶺CE、畑副主任、岩本技士長

同院の岩本和也・臨床工学技士長は「TAVI explant症例における体外循環戦略」と題し、自院の経験からTAVI explant（経カテーテル大動脈弁留置術＝TAVIで留置した人工弁の外科的抜去術）を安全に遂行するための体外循環戦略を紹介。対象症例での方法を説明し、①術中の不測事態を想定した事前準備、②確実な心筋保護ルートの構築などをポイントに掲げた。

コーヒー画材に安らぎ

中部徳洲会病院が初アート展

中部徳洲会病院（沖縄県）は8月24日から約2カ月間、院内でコーヒーアート展を開いた。コーヒーアートは、コーヒーを使い、その濃淡で描く絵画。会場には木やウサギ、キツネなど「生命力」を感じさせる作品が27点並んだ。制作を手がけたのは、北谷町の子ども美術教室「こどもARTLABたね」の生徒や卒業生、同教室で絵画を教える山城芽さん。山城さんには展示のコーディネートに関する協力も得た。



作品を手がけた山城さん（後列左から2人目）や子どもらと記念撮影をする稲福係長（その右）



コーヒーで描かれた山城さんの作品「ここにいるよ」

発案者は同教室で絵画を学んでいる同院の早川真人・心臓血管外科部長のお子さん。山城さんに「注射など怖いイメージのある病院を、ほっとできる場所にしたい」と話したのがきっかけだ。同院も趣旨に賛同し、展示ブースを新設。

準備を中心的に進めた稲福信也・地域医療連携室広報企画渉外係長は「患者さんからは『コーヒーの香りがしてほっとする』、『コーヒーで描かれたとは思えない』など多くの感想が寄せられました。今後も続けていきたいです」と笑顔。会場では、退院した患者さんから贈られた作品を展示する「木工芸展」も同時に開いた。

病気のはなし 239

ひと晩待つと手遅れになるかも

腸閉塞

腸閉塞は何らかの理由で腸が詰まり、腸管が物理的に塞がる状態を指す。「腸の蠕動運動がなくなるイレウスとよく混同されますが、異なるものです」と札幌もいわ徳洲会病院の前島拓副院長（外科・消化器外科）。

腸閉塞には血流障害をともなわない単純性腸閉塞と、血流障害をともなう絞扼性腸閉塞があり、最も一般的なのは、腹部術後に生じた癒着で内容物の通過が妨げられる単純性腸閉塞だ。多くの場合、食事を止める絶飲食や点滴に加え、腸内にたまった内容物やガスなどを排出し、圧力を下げる減圧処置を行い、保存的治療で症状の改善を図る。

手術で癒着部位を剝離する治療法もあるが、「剝離手術の傷が原因で腸閉塞をまた起こすこともあるため、同じ箇所で何度も繰り返すなどの事情がなければ、まずは保存的治療を試みます」と前島副院長。

一方、緊急性が高いのが絞扼性腸閉塞だ。前島副院長は「血流障害により、腸が腐ってしまい、最悪の場合は命の危険をともなうため緊急手術が必要です」と、その危険性を訴える。症状は持続する強い腹痛、腹部膨満感、吐き気で、症状だけでは単純性腸閉塞と絞扼性腸閉塞、腸炎の見分けがつきにくい。「絞扼性の場合、ひと晩待っていたら手遅れになることもあります。症状が出たら、すぐに病院を受診してください」と前島副院長は呼びかけている。



徳洲会感染管理部会

手指衛生キャンペーン実施

今年度から遵守調査を通年化

徳洲会感染管理部会はグループ病院・施設を対象に、感染症が流行しやすい９月から11月にかけて手指衛生キャンペーンを実施している。同キャンペーンでは、手指衛生を推進する標語をグループ病院から募集し、ポスターを作成・配布、院内・施設内に掲示し手指衛生遵守のための啓発活動を強化する。2014年から取り組んでいる。また、昨年度まではキャンペーン期間中を対象としていた手指衛生遵守調査を、今年度から通年で実施することを決定した。感染対策の質向上・強化が目的だ。

「守る手 治す手 きれいな手」

応募のあった標語から優秀賞に選んだのは、さいたま記念病院の「守る手 治す手 きれいな手」という作品。四街道徳洲会病院（千葉県）の「推し活も、手指衛生も、継続だ」を特別賞に選出した。今年度は１施設２点までの応募で、67病院から129点の応募があった。



優秀賞に選ばれたさいたま記念病院では、受付カウンターにポスターを掲示。菅原SE（右）と中川副主任



優秀賞の標語で作成したポスター



特別賞のポスターには徳洲会体操クラブの選手が登場

野崎徳洲会病院（大阪府）、大隅鹿屋病院（鹿児島県）、鹿児島徳洲会病院のデザインにより、優秀賞と特別賞の２パターンのポスターを作成、グループ病院・施設に配布した。

ポスターには標語に加え「WHO（世界保健機関）手指衛生５つの瞬間」を記載。とくに手指衛生が求められるのは、①患者さんに触れる前、②清潔／無菌操作の前、③体液に曝露された可能性のある場合、④患者さんに触れた後、⑤患者さん周辺の物品に触れた後――の５つの瞬間だ。

同キャンペーンを担当している同部会北海道ブロック長の井畑理沙・札幌徳洲会病院感染管理室師長（感染管理認定看護師）は「応募作のなかから、部会長、副部会長、専門部会代表からなる執行部メンバーが投票により選出しました。医療従事者の手は、治療や看護、薬や検査、時には愛情など、さまざまなものを届けます。その手が、手指衛生されたきれいな状態で患者さんに届けてほしいという思いで、優秀賞を選出しました」と説明する。

選考基準は、内容が具体的であり手指衛生行動に結び付くもの、使用されている文言がわかりやすく的確であること、親しみやすく記憶に残るものであること、過去３年の標語に類似していないことだ。

一方、今回の特別賞は、21年の新語・流行語大賞にノミネートされた「推し活」という単語をうまく標語に取り入れた点が、“なじみやすさ”として高い評価を受けた。特別賞のポスターは、徳洲会体操クラブの協力を得て、杉野正尭選手（キャプテン）、北園丈琉選手（副キャプテン）、岡慎之助選手の写真を用いたデザインとなっている。

「部会から徳洲会体操クラブに打診したところ、米田功監督をはじめ選手の皆さんに快諾をいただき、新しいユニフォームで撮影してくれました。躍動感のあるポスターに仕上がったと思います。ぜひ多くの方々に推し活と同じ熱量で手指衛生も継続してほしいと思います」（井畑師長）

優秀賞の標語を考案したのは、さいたま記念病院情報システム課の菅原利雄システムエンジニア（SE）。「看護師さんが日頃、手洗いを頻繁に行っている姿を目にするなかで、ぱっとひらめいてできた標語です。優秀賞に選ばれ驚きました。手指衛生の啓発に少しでも貢献できればうれしいです」とほほえむ。

同院の中川加央里・看護副主任（感染管理認定看護師）は「院内から５つの標語が集まりました。大久保久美子・看護部長と話し合い、シンプルでわかりやすい菅原SEの標語を当院からの応募作（２作品）のひとつに選びました」と明かす。

「待合室などにも掲示を」

手指衛生の実施状況の把握や改善のため、今年度から「手指衛生遵守調査」を通年化。手指衛生５つの瞬間に関して、グループ全病院で直接観察法と呼ばれる手法で調査を行う。

井畑師長は「感染対策の根幹である手指衛生は日常的に実施することが必要です。キャンペーンというスポットでの観察では一時的な改善にとどまってしまうため、通年で実施することにしました。継続的なPDCA（計画→実行→評価→改善）サイクルを構築し、手指衛生が習慣化する環境づくりが目標です。ぜひ待合室などにもポスターを掲示し、医療従事者だけでなく患者さんとともに手指衛生を実践できる病院を目指していただきたいです」と呼びかけている。

通年化にともない、調査の負担軽減を図り継続性を担保するため、病床規模別の調査数を設定した。

徳洲会医療安全管理部会

「重大事象」テーマにスキルアップ研修開く

徳洲会医療安全管理部会は９月１日、グループ全体の医療安全活動の質向上のため、「医療法改正に対応する重大事象A・B類型の実践『判断できる』『集められる』『改善につなげられる』医療安全管理者を目指して」をテーマにスキルアップ研修を開催した。



重大事象A・B類型などについてレクチャーする辰巳部長

講師は八尾徳洲会総合病院（大阪府）の辰巳陽一・医療安全管理部長兼同部会顧問（近畿大学医学部・近畿大学病院客員教授）。

全国のグループ病院の医療安全管理担当者を対象にオンライン形式で行い、72施設から約140人が参加した。

今年４月の医療法改正では、「患者への影響度」と「回避可能性」の観点から重大事象をA類型（患者への影響度が大きく、確実に回避する手段が普及している事象）とB類型（患者への影響度が大きく、回避可能性は必ずしも高くない事象）に分類し、医療機関に把握・検証などを義務付けた（他に「患者への影響度が比較的小さい事象」としてC類型がある）。再発防止の推進が狙いだ。

研修の前半では、事故対応の目的や進め方、報告のしやすさと心理的安全性、事実確認・聞き取り・記録などについてレクチャー。後半は各分類の定義や対応など詳説し、「分類はゴールではなく“学習する組織”への入り口です。重大事象の対応は、個人を責めるのでなく、客観的事実・構造的要因・改善可能な条件を徹底して見ることが肝要です」と呼びかけた。



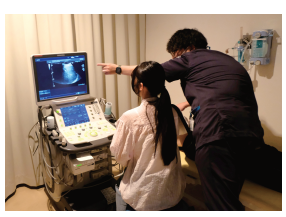
ブロック長会議後にオンラインで各施設と結び研修を実施

部会長の西村和恵・吹田徳洲会病院（大阪府）医療安全管理室長は「法制度の基本や対応方法などについて共通認識を得ることが今回の目的でした。ぜひ受講者の方々には各病院で、多職種でディスカッションしながら改善活動を続けてほしいです」と期待を寄せた。

初のオープンホスピタル

八尾病院が中高生・保護者対象に

八尾徳洲会総合病院（大阪府）は９月19日、医療に興味ある中高生と、その保護者を対象に初のオープンホスピタルを開催した。冒頭、原田博雅院長が登壇し、参集した71人に「（このイベントを通じ）少しでも、私たちの仕事に魅力を感じてもらえたら。当院に関わらず地域の医療界全体の活性化につなげたいと思っています」と声をかけた。



恐る恐る超音波検査を実施する学生



進路相談会にも多くの学生が参加

また、同院で働く非常勤を含めた約1,300人の職員と関係業者、475人の入院患者さんを“ひとつの村”のようなものと例え、その村には医師、看護師などメジャーな職種だけでなく、多職種が働いており、「まず多くの職業があることを知ってほしい」と訴えた。

その後、各部署を紹介する動画を供覧したあと、院内14職種が実際に働く現場を見学した。学生たちは興味ある部署に立ち寄り、スタッフから説明を熱心に聞いたり、検査など体験したりした。最後の質問・進路相談コーナーは自由参加だったが、多くの参加者が残り、各ブースに足を運んでいた。

3000人来場し大盛況!

野崎病院が病院祭



医療機器体験ブースで四苦八苦しながら楽しむ子どもら

野崎徳洲会病院（大阪府）は９月６日、大東市内で病院祭を開催し、午前と午後を合わせて約3,000人が訪れ、大盛況となった。午前の部では、「ちびっ子向けブース」で医療機器・看護師体験やお菓子釣りなど、「高齢者向けブース」で血管年齢測定やリハビリテーション機器体験などを行い、幅広い世代で賑わった。

午後の部では、山田貴之・副院長兼循環器内科センター長と宮下史寛・心臓血管外科部長が医療講演を実施。参加者からは「わかりやすい内容で健康への理解が深まった」など感想が聞かれた。地域の大阪桐蔭高校吹奏楽部によるコンサートも会場を大いに沸かせた。

病院祭実行委員長の柴田泰雄・放射線科副技師長は「当日は天候にも恵まれ、多くの方々にご来場いただきました。午前のブース、午後の医療講演やコンサートともに楽しんでいただき、地域の方々に当院を知っていただく機会になったと思います」と手応えを語っていた。

八尾病院の公式イメージキャラ「やおとくちゃん」で親しみを

八尾徳洲会総合病院（大阪府）は公式イメージキャラクター「やおとくちゃん」を制作した。９月19日の一般向けイベント「第１回オープンホスピタル」開催に合わせ、事前に職員から募集。18の応募作品から、職員の投票で決定した。「やおとくちゃん」は、帽子に地元・八尾市の市木であるイチョウ、マントには市花の菊の葉をあしらい、体を特産品の枝豆と若ごぼうをイメージした濃い緑色のデザインにした。

院内保育室で病児保育を担当する武田久美保育士がAIツールを使い、修正を重ねて仕上げた。「診察室に入るだけで泣いてしまう子どもたちに、病院は怖くない場所だと伝えたい思いでつくりました」（武田保育士）。

今後は院内外の広報や採用活動、医療講演などで活用する予定。企画を取りまとめた平野泰弘・事務次長は「やおとくちゃんを通じて病院を一層身近に感じていただき、地域の方々とのつながりを深めるきっかけにしていきたいです」と意気込んでいる。

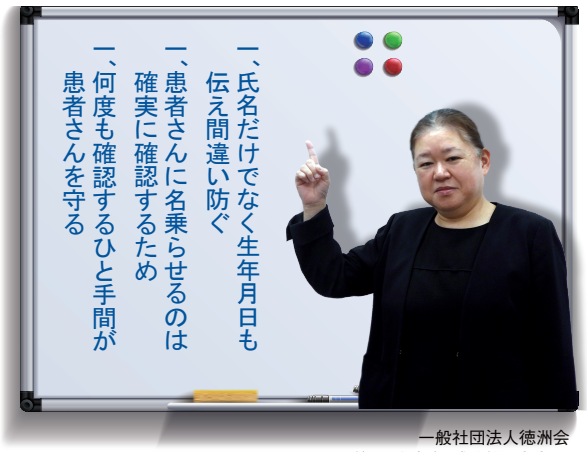


やおとくちゃんを掲げる平野・事務次長（左）と武田保育士

読み解く・読み得 紙上医療講演 91

名前・生年月日を確認する理由

医療機関を受診した際、患者さんは場面が変わるたびに自分の名前などを医療スタッフに伝えなければなりません。同じ日、同じ建物内にもかかわらず、何度も確認を求められることに対し、困惑する患者さんも少なくないのではないでしょうか。しかも、なぜ医療スタッフが名前を読み上げて返答するのではなく、患者さんに名乗らせる形式をとっているのか。その理由を一般社団法人徳洲会の深野明美・医療安全・感染管理部部長が解説します。



一般社団法人徳洲会
深野明美・医療安全・感染管理部部長

病院を受診したり入院したりすると、患者さんはスタッフから1日に何度も「お名前と生年月日を教えてください」と言われ、答えることがあります。「さっきも言ったのに…」、「聞かれるたびに答えるのは面倒」、「診察券の番号で管理しているのに、なぜ毎回確認するの？」と思われたことがある方もおられるのではないでしょうか。

じつは、この「何度も確認すること」には大切な理由があります。それは患者さんの取り違えによる事故防止にほかなりません。

医療の現場では診察、検査、注射、点滴、手術、薬の受け渡し、書類の受け取りなど、さまざまな場面で患者さんが間違っていないかを確認します。フルネームだけでなく、生年月日もスタッフに伝えるのは、名前や容姿が似ている方、同姓同名の方もおられるからです。

また、「○○さんですね」など医療スタッフから言われると、患者さんは自分の名前でなくても、自分の名前を呼ばれたと勘違いし、つい「はい」と返事をしてしまうことがあります。

かつて、ある大学病院で患者さんを取り違えて手術を行うという重大な事故が発生しました。当時は、医療者が患者さんの名前を呼び、患者さんが「はい」と答える方法が一般的でしたが、「それだけでは患者さんを確実に確認できない」とわかり、患者さんご自身にお名前や生年月日を言っていただく現在の方法が広く行われるようになったのです。



そして大切なのは、「一度確認したから大丈夫」ではないということです。診察室では診察を受ける患者さん、検査室では検査を受ける患者さん、薬を渡す時には、その薬を受け取る患者さんであることを、その都度、確認します。何度も確認するのは、職員が覚えていないからではありません。患者さんを取り違えることなく、安全な医療を提供するために、それぞれの場面で確認しているのです。

医療安全は、医師や看護師など医療スタッフだけで行えるものではありません。患者さんやご家族もまた“医療チームの一員”なのです。ぜひ安全な医療を実現するために、患者さんには次の協力をお願いします。

①名前や生年月日を聞かれた際には、何度でもお答えください。

②アレルギーや現在服用している薬、これまでの病気など、ご自身の情報をできるだけ正確にお伝えください。

③診察や治療について、わからないことや、「いつもと違う」、「これは自分の薬だろうか」と感じたなら、遠慮なく医療スタッフにお声がけください。

薬や書類を受け取る時にも、ぜひ一緒に名前を確認してほしいと思います。「何度も聞く」、「何度も答える」というひと手間が、患者さんを守る大切な安全確認になります。患者さんと医療スタッフが一緒に確認することで、より安全で安心な医療につながります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

キラリ輝く Shine★職員

思いに寄り添うリハビリを

濵田夏海 中部徳洲会病院（沖縄県）理学療法士



中学時代に手指を骨折した際、骨の構造や体の仕組みに興味をもったことが、理学療法士を目指したきっかけです。出身地である与論島で、高齢の方々がリハビリテーションに励む姿を目にし、自分も力になりたいと強く思いました。

現在はICU（集中治療室）やHCU（高度治療室）での早期リハビリや、脳神経外科の患者さんを中心に担当しています。リハビリには「つらい」というイメージをもたれる方も多いため、少しでも楽しさを感じ、明日への意欲につながるような前向きな声かけを心掛けています。また、患者さんの「家に帰りたい」という思いに寄り添い、具体的な目標を共有しながらリハビリを進めることを大切にしています。

かつて離島応援で与論徳洲会病院へ赴いた際、地域の方々から温かい言葉をいただき、この仕事を選んで良かったと実感しました。今後は、忙しい現場のなかでも多職種と密に連携し、チーム医療の一員として貢献できるよう研鑽を重ねたいです。さらに、認定理学療法士の資格取得も目指し、専門性を高めて患者さんの復帰を支えていきたいと考えています。

お皿の上の健康 Recipe 105

感染症が気になる季節

温かい鍋で栄養しっかり
トマトすき焼き



朝晩の冷え込みが強まり、インフルエンザなど感染症の流行が気になる季節になりました。この時期に大切なのは、毎日の食事で必要な栄養をしっかり取ることです。タンパク質やビタミン、ミネラルを意識し主食・主菜・副菜をそろえた食事を心がけましょう。今回おすすめするのが「トマトすき焼き」（**写真**）です。トマトは抗酸化作用をもつリコピンやビタミンC、カリウム、食物繊維などを含んでいます。牛肉からはタンパク質や鉄分を取ることができます。トマトの酸味と、うま味が甘辛い割り下によく合い、いつものすき焼きとはひと味違うおいしさです。材料を切って煮るだけなので、忙しい日の夕食にもぴったり。栄養たっぷりの鍋で体を温めてみてはいかがでしょうか。

材料（1人分）

- トマト …… 1/3個(60g)
- タマネギ …… 1/10個(20g)
- 牛肩ロース薄切り …… 80g
- バジル …… 2～3枚

〈割り下〉
- みりん …… 大さじ1
- 酒 …… 大さじ1
- 醤油 …… 小さじ2
- 水 …… 大さじ1
- 砂糖 …… 小さじ1

つくり方

Step.1 トマトは湯むきして、くし形に切る。タマネギは1～1.5cm幅のくし形に切る。

Step.2 割り下をつくる。鍋にみりんと酒を入れてひと煮立ちさせ、醤油、水、砂糖を加えて砂糖が溶けるまで加熱する。

Step.3 **Step.2** の鍋を弱火にかけ、**Step.1** のタマネギを入れる。

Step.4 タマネギが少ししんなりしたら、牛肩ロース薄切りを重ならないように広げて入れる。

Step.5 **Step.4** の牛肉に火が通ったら **Step.1** のトマトを入れ、ひと煮立ちしたらバジルを載せて完成。

1 Point アドバイス

長ネギやキノコ類を加えると、食物繊維やビタミンなども補え、栄養バランスがより整います。トマトは仕上げ近くに加えると形が残り、ほど良い酸味が楽しめます。しっかり煮込めば、うま味が割り下になじみ、味に一体感が生まれます。お好みで加熱時間を調整してください。トマトの水分で味が薄まることがあるので、割り下は少しずつ加えるのがコツです。



武蔵野徳洲会病院（東京都）栄養管理室の土屋輝幸副室長（管理栄養士）

教えてドクター

頻繁でなければ問題なし

Question 耳かきは、しないほうが良いのでしょうか。（36歳・女性）

Answer 頻繁でなければ行っても問題ありません。目安は1～2カ月に1回程度。ご自身の耳垢の性質に合わせ耳かき棒か綿棒を用いて優しく耳垢を取り除いてください。耳かき自体が気持ち良い、かゆくて我慢できないなどの理由で毎日のように行うのは避けましょう。皮膚が刺激によって厚くなり耳穴が狭くなって掃除自体が難しくなったり、まれながら腫瘍が発生したりすることもあります。皮膚を傷つけることで浸出液が出て、カビが生えやすくなり、かゆみがさらに増す悪循環に陥ります。かゆみが落ち着かない時は皮膚科医や耳鼻咽喉科医にご相談ください。

よく「耳垢は自然に排出されるので耳かきは不要」とも言われますが、耳垢栓塞という病名があるとおり排出されず堆積することもあります。耳の中でガサガサ音がするなど、耳垢がたまってきていると感じれば、適度に耳かきしてもいいでしょう。プールやシャワーの水で耳垢が膨張して急に聴こえが悪くなったり、柔らかい耳垢の場合は綿棒で逆に押し込んでしまったりすることもあります。難聴の原因には治療が必要な疾患もありますので、聴こえが戻らない時は耳鼻咽喉科医にご相談ください。また、中耳の術後の耳内の清掃も耳鼻咽喉科医にご相談を。

お答えします



二井 一則
山形徳洲会病院耳鼻咽喉科部長、
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医・指導医

ただいま研修中!!

中尾 美貴

千葉徳洲会病院
初期研修医（1年次）



高校1年で参加した「1日医師体験」がきっかけとなり医師を志しました。消化器外科や呼吸器外科に興味があるため、1年目から手厚い指導の下、術後管理だけでなく手術にも積極的に参加できる環境や、2カ月間の離島・へき地研修に魅力を感じ、当院を研修先に選びました。

研修が始まり半年が経ちますが、とても恵まれた研修環境であることを実感しています。“断らない医療”を掲げる徳洲会病院だからこそ症例数は豊富ですし、習得したい手技があれば、何度でも機会をいただけます。また入院から退院までかかわる日々の研修で、治療方針だけでなく、チーム医療の大切さや退院調整の難しさなど、多くの経験と学びを通じて、さらに成長していきたいという思いが強くなっています。

現在は内科をローテート中で、ジェネラリストの道にも興味が湧いてきました。どのような専門に進んだとしても、つねに患者さんの立場で、真心を尽くす医師を目指し、研鑽していきたいです。



病棟で松村祐志・消化器内科部長（右）と入院患者さんの情報や診療方針を共有

多くの学びを重ねて成長